

令和2年度 事務事業点検シート

事務事業名	原水及び浄水費	新規/継続	継続事業	整理番号	企1505 - 001			
		分割/統合						
関連予算科目	会計	水道事業会計	事業の分割/統合の内容					
	款	水道事業費用		事業所管課	水道局管理・水質係、施設・管路整備係			
	項	営業費用			連絡先	(078)918-5068、(078)918-5211		
	目	原水及び浄水費		自治/法定		自治事務	開始年度	昭和 5 年度
	事業				根拠法令・要綱等	水道法、水道法施行令、明石市水道条例、明石市水道条例施行規程ほか		
施策分野	5 都市基盤整備分野 5-7 安全安心な水の安定供給	実施方法	直営	<input type="radio"/>		補助・助成	<input type="checkbox"/>	
個別計画	水道事業経営戦略		委託	<input type="radio"/>	指定管理	<input type="checkbox"/>		

事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）				
	水道施設を運転管理し、浄水処理をした上で安定した水量を確保し、安全な水を安定して供給する。				
	成果指標				
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
配水量1m ³ 当たり 電力消費量(kWh/m ³)	取水から給水栓まで1m ³ の水を送水するまでに要した電力消費量を示す。総電力量/年間配水量で算出される。	令和3年度	kWh/m ³	0.67	

事業内容	① 水道施設(源井、取水場、浄水場、配水場等)の維持管理 安定した水量を確保し、安全な水を安定して供給するための処理設備の運転管理、設備の点検整備、薬品の補充、消耗品の交換等 平成30年度実績:計装設備点検ほか 令和元年度実績:計装設備点検ほか 令和2年度予定:計装設備点検ほか
	② 水道施設の保全 安定した水量を確保し、安全な水を安定して供給するための保全工事 平成30年度実績:明石川浄水場ほか保全工事 令和元年度実績:明石川浄水場ほか保全工事 令和2年度予定:明石川浄水場ほか保全工事
	③ 水質管理 安定した水量を確保し、安全な水を安定して供給するための水質検査等 平成30年度実績:水質検査業務委託 令和元年度実績:水質検査業務委託 令和2年度予定:水質検査業務委託
	④ 泉水受水 安全な水を安定して供給するために、兵庫県用水供給事業から水道水を受水 平成30年度実績:受水量9,161,895m ³ 令和元年度実績:受水量9,152,822m ³ 令和2年度予定:受水量9,172,500m ³

SDGs(17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
					○			○		○						

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)				
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源					
30決算	2,201,305	149,281	2,350,586	0	0	2,350,586	0	正規	9.00	7.00	1.00	
01当初予算	2,277,948	148,596	2,426,544	0	0	2,426,544	0		再任用	7.00	0.00	
01決算	2,261,839	135,117	2,396,956	0	0	2,396,956	0		任期付	1.00	合計	18.00
02当初予算	2,344,376	146,475	2,490,851	0	0	2,490,851	0					

令和元年度 決算事業費 明細	区分(節)	内容	金額	令和2年度 当初予算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額
	委託料	浄水場運転管理業務委託ほか	324,572		委託料	浄水場運転管理業務委託ほか	359,252
	修繕費	原浄水施設保全工事ほか	240,129		修繕費	原浄水施設保全工事ほか	264,000
	動力費	原浄水施設電力料金	376,913		動力費	原浄水施設電力料金	410,000
	薬品費	ポリ塩化アルミニウムほか	78,897		薬品費	ポリ塩化アルミニウムほか	108,372
	受水費	泉水用水料金	1,197,050		受水費	泉水用水料金	1,153,548
	その他	旅費、備品・消耗品費ほか	44,278		その他	旅費、備品・消耗品費ほか	49,204
	合計				2,261,839	合計	

令和2年度 事務事業点検シート

整理番号	企1505-001	事務事業名	原水及び浄水費		
------	-----------	-------	---------	--	--

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			30年度	元年度	2年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	配水量1m ³ 当たり 電力消費量(kWh/m ³)	取水から給水栓まで1m ³ の水を送水するまでに要した電力消費量を示す。総電力量/年間配水量で算出される。			0.68	0.67	0.67
		令和3年度	kWh/m ³	0.67			
指標で表せない成果							

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点に「×」)					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>水道事業経営戦略に従い、今後の人口の推移から水需要を予測し、自己水源(地下水・河川水)の潜在能力を考慮しながら適正な受水計画を確立する必要がある。</p> <p>また、安定的に安全な浄水処理が行われるよう、水道事業中期経営計画に基づき施設、設備の健全性を最適な手法で確保する。</p>						

令和2年度 事務事業点検シート

事務事業名	配水及び給水費	新規/継続	継続事業	整理番号	企1505 - 002		
		分割/統合					
関連予算科目	会計	水道事業会計					
	款	水道事業費用					
	項	営業費用					
	目	配水及び給水費					
	事業						
施策分野	5 都市基盤整備分野		事業所管課	水道局給水係、管路維持係			
	5-7 安全安心な水の安定供給			連絡先	(078)918-5067、(078)918-5211		
個別計画	水道事業経営戦略		自治/法定		自治事務	開始年度	昭和 5 年度
				根拠法令・要綱等	水道法、水道法施行令、明石市水道条例、明石市水道条例施行規程ほか		
		実施方法	直営		○	補助・助成	
			委託	○	指定管理		

目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）
 (1) 配水事業…配水場から給水装置までの配水管等を適切に維持管理し、安全・安心な水を安定して供給する。
 (2) 給水事業…水道使用者及び給水装置工事事業者並びに住宅建設業者等に対して、給水装置の修繕工事及び新設給水装置工事の使用材料について、給水装置の構造及び材質に関する規程に適合しているか審査・検査を実施し、安全な水を供給する。

事業の目的・目標	成果指標				
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
	有収率	浄水場で生産された水のうち収益になった水量の割合。 年間有収水量/年間配水量で算出される。	-	%	96%以上100%未満
	直結給水率	全給水件数に占める直結給水方式の割合。 直結給水件数/給水件数で算出される。	令和3年度	%	77.3

事業内容

(1) 配水事業
 ① 漏水音聴調査(平成30年度:調査延長524km・漏水発見192箇所、令和元年度:調査延長353km・漏水発見120箇所
令和2年度予定:調査延長297km)
 ② 道路上の漏水修繕等(平成30年度:957箇所、令和元年度:760箇所、令和2年度予定:900箇所)
 ③ 鉛管切替工事(給水管の更新 平成30年度:159件、令和元年度:226件、令和2年度予定:240件)

(2) 給水事業
 ① 給水装置工事申込書の受付、審査(平成30年度2,653件、令和元年度2,703件、令和2年度予定2,600件)
 ② 給水装置工事完了後の竣工検査(平成30年度1,413件、令和元年度1,481件、令和2年度予定1,500件)
 ③ 指定給水装置工事事業者の指定(平成30年度17件、令和元年度17件、令和2年度予定17件)
 ④ 指定給水装置工事事業者の更新(令和2年度予定83件)
 ⑤ 管路図(マッピング)の更新に伴う関係部署との協議をし、更新、図面等の作成(平成30年度2,268万円、令和元年度2,310万円、令和2年度予定2,310万円)
 ⑥ 水道メーターの検定満期に伴う取替、修理。検定満期取替件数(平成30年度22,504個、令和元年度21,514個、令和2年度予定22,800個)

SDGs(17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
					○			○		○						

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				正規
30決算	749,812	183,454	933,266	0	0	901,583	31,683				
01当初予算	783,249	186,456	969,705	0	0	938,705	31,000	正規	15.00	アパ付	0.00
01決算	639,749	161,538	801,287	0	0	770,287	31,000	再任用	5.00	その他	0.00
02当初予算	837,798	174,876	1,012,674	0	0	976,674	36,000	任期付	5.00	合計	25.00

令和元年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	令和2年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	委託料	公道等漏水修繕、漏水調査等の各種業務委託料	421,286		委託料	公道等漏水修繕、漏水調査等の各種業務委託料	477,518
修繕費	給水管切替工事、水道メーター検定修繕等の施設・機器の修繕費	101,121	修繕費	給水管切替工事、水道メーター検定修繕等の施設・機器の修繕費	127,400		
路面復旧費	漏水修繕等水道工事跡の舗装復旧	60,466	路面復旧費	漏水修繕等水道工事跡の舗装復旧	85,000		
負担金	下水道移設工事に伴う負担金等	1,616	負担金	下水道移設工事に伴う負担金等	16,850		
工事請負費	配水管布設替ほか工事に伴う給水管切替工事	38,629	工事請負費	配水管布設替ほか工事に伴う給水管切替工事	107,800		
その他	旅費、備品・消耗品費ほか	16,631	その他	旅費、備品・消耗品費ほか	23,230		
合計			639,749	合計			837,798

令和2年度 事務事業点検シート

整理番号	企1505-002	事務事業名	配水及び給水費
------	-----------	-------	---------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			30年度	元年度	2年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	有収率	浄水場で生産された水のうち収益になった水量の割合。 年間有収水量/年間配水量で算出される。			98.4	97.2	97.5
		-	%	96%以上100%未満			
	直結給水率	全給水件数に占める直結給水方式の割合。 直結給水件数/給水件数で算出される。			74.1	74.7	75.3
		令和3年度	%	77.3			
指標で表せない成果							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>(1)配水事業</p> <p>①早期の漏水発見・早期修繕により、現状レベルの事業水準(有収率96%以上)を維持できるよう努めていく。</p> <p>②緊急時における対応力の向上を図るため、危機管理マニュアルのより一層の充実を図る。</p> <p>③最大の漏水対策である老朽管整備を更新計画に基づきしっかり進める。</p> <p>④職員数が減員していく状況にあつて、現状レベルの配水事業を維持するために、所属職員の研修参加機会を増やし、技術水準・意識水準の強化向上を図っていく。</p> <p>(2)給水事業</p> <p>貯水槽水道の適正管理及び直結給水への切り替えの推進について、設置者や使用者に積極的に情報提供(DM、広報ビラ、ホームページ等)や、指導・助言に努め、より安全でおいしい水の供給を図っていく。</p>						

令和2年度 事務事業点検シート

事務事業名		受託工事費	新規/継続	継続事業	整理番号	企1505 - 003				
			分割/統合							
関連予算科目	会計	水道事業会計	事業の分割/統合の内容							
	款	水道事業費用	事業所管課	水道局施設・管路整備係						
	項	営業費用	連絡先	(078)918-5257						
	目	受託工事費	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 5 年度				
	事業		根拠法令・要綱等	水道法、水道法施行令、明石市水道条例、明石市水道条例施行規程ほか						
施策分野		5 都市基盤整備分野 5-7 安全安心な水の安定供給	実施方法		直営	<input type="radio"/>	補助・助成	<input type="checkbox"/>	その他	<input type="checkbox"/>
個別計画		水道事業経営戦略			委託	<input type="radio"/>	指定管理	<input type="checkbox"/>		

事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）				
	第三者の起因により発生する、配水管布設（移設）工事及び布設（移設）工事に伴う給水管切替工事を原因者の適正な費用負担によって、水道局が受託工事として行う。				
	成果指標				
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値

事業内容	① 河川工事に伴う配水管移設工事(2件)				

SDGs(17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
					○			○		○						

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
30決算	5,696	9,720	15,416	0	0	15,416	0	正規	1.00	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
01当初予算	96,064	10,681	106,745	0	0	106,745	0	再任用	0.00	その他	0.00
01決算	34,452	9,857	44,309	0	0	44,309	0	任期付	0.00	合計	1.00
02当初予算	26,000	10,871	36,871	0	0	36,871	0				

令和元年度 決算事業費 明細	区分(節)	内容	金額	令和2年度 当初予算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額
	工事請負費	水管橋移設工事ほか	31,947		工事請負費	配水管移設工事費	26,000
	委託料	水管橋移設に伴う保守管理業務委託料	2,321				
	賃借料	水管橋移設に伴う用地賃借料	184				
	合計				34,452	合計	

令和2年度 事務事業点検シート

整理番号	企1505-003	事務事業名	受託工事費		
------	-----------	-------	-------	--	--

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			30年度	元年度	2年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
指標で表せない成果							
他事業で行う水道工事を水道局が受託して行うことにより、水道局監督員の指導のもと、明石市水道局としての施工基準が遵守され、より高い品質が確保出来るものである。							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
老朽管の更新、新設管の拡張とは異なり、相手方からの依頼により発生する工事であり、水道局において、拡充、縮小を行うことは難しいものであるが、品質確保といった観点からは必要であり、今後も可能な範囲で受託を行うものである。						

令和2年度 事務事業点検シート

事務事業名	業務費	新規/継続	継続事業	整理番号	企1505 - 004		
		分割/統合					
関連予算科目	会計	水道事業会計	事業の分割/統合の内容				
	款	水道事業費用	事業所管課	水道局業務係			
	項	営業費用	連絡先	(078)918-5084			
	目	業務費	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 5 年度	
	事業		根拠法令・要綱等	水道法、水道法施行令、明石市水道条例、明石市水道条例施行規程ほか			
施策分野	5 都市基盤整備分野		実施方法	直営	○	補助・助成	その他
	5-7 安全安心な水の安定供給			委託	○	指定管理	
個別計画	水道事業経営戦略						

目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）
 本市給水区域内の水道使用者からの水道料金の収入を確保し、健全な事業経営を目指す。

成果指標				
指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
現年度収納率	現年度調定額に対する収入額の比率(納期未到来の3月調定分を除く)	令和2年度	%	98.7
過年度収納率	滞納繰越額に対する収入額の比率	令和2年度	%	97.8

- 事業内容**
- ① 水道料金の調定、収納
 - ② 水道使用者からの給水申込、使用中止届の受付に伴う開栓及び中止精算
 - ③ 水道料金の減免対象者(独居高齢者)の調査、認定
 - ④ 水道料金の滞納者に対する徴収、整理
 - ⑤ 水道料金の重複支払等における過誤納金の還付、充当
 - ⑥ 漏水に伴う水量の認定
 - ⑦ 工事前納金の還付、充当
 - ⑧ 設置されている水道メーターを有効期限前に取替
 - ⑨ 時効完成した未収水道料金の不納欠損処理

SDGs(17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
					○											

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
30決算	281,669	49,682	331,351	0	0	292,158	39,193	正規	2.00	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
01当初予算	282,244	46,462	328,706	0	0	288,526	40,180	再任用	1.00	その他	0.00
01決算	279,186	40,062	319,248	0	0	278,987	40,261	任期付	2.00	合計	5.00
02当初予算	289,006	49,632	338,638	0	0	297,008	41,630				

令和元年度 決算事業費 明細	区分(節)	内容	金額	令和2年度 当初予算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額
	備用品費	消耗品費(文具・OA用消耗品等)	424		備用品費	消耗品費(文具・OA用消耗品等)	1,058
負担金	市民センター水道業務負担金	1,456	負担金	市民センター水道業務負担金	2,000		
委託料	検針・収納・電算処理業務ほか	266,399	委託料	検針・収納・電算処理業務ほか	274,652		
手数料	料金口座振替手数料ほか	6,261	手数料	料金口座振替手数料ほか	6,483		
貸倒引当金繰入額	貸倒引当金への繰入額	3,039	貸倒引当金繰入額	貸倒引当金への繰入額	3,600		
その他	旅費、印刷製本費ほか	1,607	その他	旅費、印刷製本費ほか	1,213		
合計			279,186	合計			289,006

令和2年度 事務事業点検シート

整理番号	企1505-004	事務事業名	業務費
------	-----------	-------	-----

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			30年度	元年度	2年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	現年度収納率	現年度調定額に対する収入額の比率(納期未到来の3月調定分を除く)			98.6	98.7	98.7
		令和2年度	%	98.7			
	過年度収納率	滞納繰越額に対する収入額の比率			97.7	97.7	97.8
		令和2年度	%	97.8			
指標で表せない成果							

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点に「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>水道事業の健全な運営を維持継続していく上で必要な事業であり、生活に欠くことのできない水を常に安全で安定して供給するための財源となっている。</p> <p>市民に安全でおいしい水を安定的に供給する体制を維持しつつ、今後、より一層の財政基盤の確保及び強化を図っていくとともに、お客様サービスの向上、効率的な業務運営、経費削減等について引き続き委託内容の拡大も含め検討していく。</p>						

令和2年度 事務事業点検シート

事務事業名	総係費		新規/継続	継続事業	整理番号	企1505 - 005					
			分割/統合								
	事業の分割/統合の内容										
関連予算科目	会計	水道事業会計	事業所管課		水道局総務・管理係、経営係						
	款	水道事業費用									
	項	営業費用	連絡先		(078)918-5064						
	目	総係費									
事業		自治/法定		自治事務		開始年度	昭和 31 年度				
施策分野	5 都市基盤整備分野		根拠法令・要綱等		水道法、水道法施行令、明石市水道条例、明石市水道条例施行規程ほか						
	5-7 安全安心な水の安定供給										
個別計画		水道事業経営戦略		実施方法		直営	○	補助・助成		その他	
						委託	○	指定管理			

事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）											
	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の水道技術知識の向上、危機管理体制強化、経営基盤強化による安定給水を図る。 ・市民の水道水への関心を高め、理解を深める。 ・職員の福利厚生、安全衛生を充実させる。 											
	成果指標											
	指標名		考え方・定義・式				目標年次	単位	目標値			
	経常収支比率		収益性を見る最も代表的な指標である。(中期経営計画より) [[営業収益+営業外収益]/(営業費用+営業外費用)]×100				令和2年度	%	104.8			

事業内容	<p>① 水道事業の予算決算及び出納事務</p> <p>② 事業の経営計画の進捗管理 【実施内容】 平成29年度～ 水道事業中期経営計画に基づく進捗管理</p> <p>③ 日本水道協会関連の連絡調整及び研修会への派遣 【受講実績】平成30年度 37種 49名 延69日、令和元年度 8種 12名 延11日、令和2年度 10種 10名 延15日(予定)</p> <p>④ 危機管理マニュアルの更新、緊急時応援体制の充実 【実施内容】 危機管理マニュアルの見直し、相互応援協定東播磨ブロックでの情報伝達訓練実施</p> <p>⑤ 水道事業のPR(ホームページの更新事務、「水道週間」及び「水の週間」)に実施する小学校4年生を対象とした標語の募集など 【実施内容】 平成30年度 小学校出張授業 11校 標語応募数 1,621件 ホームページアクセス件数 24,151件/年 令和元年度 標語応募数 1,364件 ホームページアクセス件数 30,115件/年 令和2年度 標語応募数 0件(募集中止) ホームページアクセス件数 25,000件/年(予定)</p> <p>⑥ 職員の労務管理、健康管理、福利厚生、安全衛生に関する事務(健康診断実施、職場巡視) 【実施内容】 安全衛生委員会開催 平成30年度 11回、令和元年度 12回、令和2年度 9回(予定) メンタルヘルスセミナー及び自動車安全運転講習会の実施 平成30年度 各1回 メンタルヘルスセミナー、熱中症予防対策講習会及び自動車安全運転講習会の実施 令和元年度 各1回 メンタルヘルスセミナー、熱中症予防対策講習会及び自動車安全運転講習会の実施 令和2年度 (中止予定)</p> <p>⑦ 公用車の管理(水道局が管理する公用車の車検等維持管理) 【管理台数】 平成30年度 34台、令和元年度 32台、令和2年度 32台(予定)</p>																																												
	SDGs(17の目標)																																												
<table style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 5%;">①</td><td style="width: 5%;">②</td><td style="width: 5%;">③</td><td style="width: 5%;">④</td><td style="width: 5%;">⑤</td><td style="width: 5%;">⑥</td><td style="width: 5%;">⑦</td><td style="width: 5%;">⑧</td><td style="width: 5%;">⑨</td><td style="width: 5%;">⑩</td><td style="width: 5%;">⑪</td><td style="width: 5%;">⑫</td><td style="width: 5%;">⑬</td><td style="width: 5%;">⑭</td><td style="width: 5%;">⑮</td><td style="width: 5%;">⑯</td><td style="width: 5%;">⑰</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td style="text-align: center;">○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> </table>												①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰						○											
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰																													
					○																																								

事業のコスト(単位:千円)	事業費	人件費(参考値)	総事業費(参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				

30決算	63,739	74,757	138,496	0	0	134,982	3,514				
01当初予算	59,100	167,473	226,573	0	0	221,917	4,656	正規	9.00	アルバイト	1.00
01決算	53,717	120,530	174,247	0	0	171,175	3,072	再任用	1.00	その他	0.00
02当初予算	92,707	190,343	283,050	0	0	279,154	3,896	任期付	2.00	合計	13.00

令和元年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	令和2年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	備用品費	水道事業PR資材、事務用品ほか	2,122		備用品費	水道事業PR資材、事務用品ほか	2,909
	委託料	車両総合管理業務、集配金業務ほか	11,404		委託料	車両総合管理業務、集配金業務ほか	36,039
	負担金	庁舎維持管理、契約及び工事検査業務負担金ほか	32,795		負担金	庁舎維持管理、契約及び工事検査業務負担金ほか	34,750
	賃借料	コピー機借上料ほか	607		賃借料	企業会計システムデータセンター使用料ほか	3,009
	厚生費	職員健康診断料ほか	1,315		補償費	漏水等事故他補償費	5,000
	その他	旅費ほか	5,474		その他	旅費、保険料ほか	11,000
	合計				53,717	合計	

令和2年度 事務事業点検シート

整理番号	企1505-005	事務事業名	総係費
------	-----------	-------	-----

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			30年度	元年度	2年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	経常収支比率	収益性を見る最も代表的な指標である。(中期経営計画より) $\frac{[(\text{営業収益} + \text{営業外収益}) / (\text{営業費用} + \text{営業外費用})] \times 100}{}$			107.8	112.7	104.2
		令和2年度	%	104.8			
指標で表せない成果							
・安全衛生委員会の定期開催(令和元年度 12回開催)、職員の心の健康の保持増進を図るための「メンタルヘルスセミナー」実施、全庁的にも多い公用車事故の防止対策としての「自動車安全運転講習会」実施など、局独自の取組を進めながら職員の意識等の向上を図った。 ・県内水道事業体で実施する「応急給水実務訓練」及び「情報伝達検討会」に参画し、情報連絡体制の整備や相互応援の準備等について情報共有するなど、危機管理に関する意識の向上を図った。							

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
水道事業は、水道法において原則として市町村が経営するものとされており、市が本来行う事務である。また、ライフラインとしての役割を果たすため、安定給水を行う上での危機管理は勿論のこと、持続可能な経営を行っていくため、計画的に事業を実施していく必要がある。 水道事業の経営については、健全性確保とともに、より長期的な事業運営方針を示すため、平成27年11月に受けた明石市水道事業の今後のあり方懇話会の提言に基づいて、明石市水道事業経営戦略(平成29年度～38年度)及びその実施計画である明石市水道事業中期経営計画(平成29年度～33年度)を策定し、当該経営戦略、中期経営計画のもとに、平成29年度以降の事業を進めている。 今後においても、水道事業経営戦略及び中期経営計画に基づく取り組みをさらに推進し、「安全・安心・安定」でおいしい水の供給と水道利用者サービスの向上を目指す。						

令和2年度 事務事業点検シート

事務事業名		減価償却費	新規/継続	継続事業	整理番号	企1505 - 006										
			分割/統合													
			事業の分割/統合の内容													
関連予算科目	会計	水道事業会計	事業所管課	水道局経営係												
	款	水道事業費用	連絡先	(078)918-5064												
	項	営業費用	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 31 年度										
	目	減価償却費	根拠法令・要綱等	地方公営企業法施行規則 明石市水道事業会計規程												
	事業		実施方法	直営	○	補助・助成		その他								
施策分野	5 都市基盤整備分野															
	5-7 安全安心な水の安定供給															
個別計画	水道事業経営戦略		委託		指定管理											
事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）															
	水道局が所有する固定資産に係る減価償却費を地方公営企業法施行規則に従い、正確に費用計上すること。															
	成果指標															
	指標名		考え方・定義・式			目標年次	単位	目標値								
事業内容	活動名	活動内容 (〇〇するために、□□に対し、△△する)			活動実績		活動見込み									
					30年度	元年度	2年度									
	有形固定資産減価償却費	毎事業年度、地方公営企業法施行規則により、水道事業が所有する有形固定資産の減価償却			1,674,472,271円	1,704,844,277円	1,696,000,000円									
	無形固定資産減価償却費	毎事業年度、地方公営企業法施行規則により、水道事業が所有する無形固定資産の減価償却			8,600,637円	8,600,637円	8,553,000円									
SDGs(17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
					○			○								
事業のコスト (単位：千円)		事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)							
					国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源								
30決算		1,683,073	0	1,683,073	0	0	1,683,073	0								
01当初予算		1,719,601	0	1,719,601	0	0	1,719,601	0					正規	0.00	パート	0.00
01決算		1,713,445	0	1,713,445	0	0	1,713,445	0					再任用	0.00	その他	0.00
02当初予算		1,704,553	0	1,704,553	0	0	1,704,553	0	任期付	0.00	合計	0.00				
令和元年度 決算事業費 明細	区分(節)	内容	金額		令和2年度 当初予算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額								
	有形固定資産 減価償却費	水道施設に係る減価償却費	1,704,844			有形固定資産 減価償却費	水道施設に係る減価償却費	1,696,000								
	無形固定資産 減価償却費	施設利用権に係る減価償却費	8,601			無形固定資産 減価償却費	施設利用権に係る減価償却費	8,553								
合計		1,713,445		合計		1,704,553										

令和2年度 事務事業点検シート

整理番号	企1505-006	事務事業名	減価償却費
------	-----------	-------	-------

事業の 成果	指標名	考え方・定義・式			30年度	元年度	2年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
指標で表せない成果							

事業の 評価・ 今後の 方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>将来的には水道施設の更新費用の増大により、減価償却費が増加する見込である。 平成29年3月に策定した水道事業中期経営計画に基づく設備投資及び減価償却を行う。</p>						

令和2年度 事務事業点検シート

事務事業名		資産減耗費	新規/継続	継続事業	整理番号	企1505 - 007										
			分割/統合													
関連 予算 科目	会計	水道事業会計	事業の分割/ 統合の内容													
	款	水道事業費用	事業所管課	水道局経営係												
	項	営業費用	連絡先	(078)918-5064												
	目	資産減耗費	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 31 年度										
	事業		根拠法令・要綱等	地方公営企業法施行規則 明石市水道事業会計規程												
施策分野		5 都市基盤整備分野	実施方法	直営	○	補助・助成		その他								
		5-7 安全安心な水の安定供給		委託		指定管理										
個別計画		水道事業経営戦略														
事業 の 目的 ・ 目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）															
	事業を行う上で使用不能となった固定資産及び価値の減少した貯蔵品を廃棄処分する等により、固定資産の管理を図る。															
	成果指標															
	指標名		考え方・定義・式			目標年次	単位	目標値								
事業 内容	活動名	活動内容 (〇〇するために、□□に対し、△△する)			活動実績		活動見込み									
					30年度	元年度	2年度									
	固定資産除却費	固定資産の廃棄・撤去処分により発生する、除却費(残存価額)の費用計上			54,765,241円	77,493,605円	71,100,000円									
	たな卸資産減耗費	貯蔵品に分類される資産(管・弁栓類)が変質又は滅失したことにより価値が減少したものに係るその相当分の費用計上			8,140円	15,372円	200,000円									
SDGs(17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
					○			○								
事業のコスト (単位:千円)		事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)							
					国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源								
30決算		54,773	0	54,773	0	0	54,773	0								
01当初予算		74,000	0	74,000	0	0	74,000	0				正規	0.00	アルバイト	0.00	
01決算		77,509	0	77,509	0	0	77,509	0				再任用	0.00	その他	0.00	
02当初予算		71,300	0	71,300	0	0	71,300	0	任期付	0.00	合計	0.00				
令和元 年度 決算 事業費 明細	区分(節)	内容		金額	令和2 年度 当初 予算 事業費 明細	区分(節)	内容		金額							
	固定資産除却費	固定資産の除却費		77,494		固定資産除却費	固定資産の除却費		71,100							
	たな卸資産減耗費	貯蔵品の減耗費		15		たな卸資産減耗費	貯蔵品の減耗費		200							
合計				77,509	合計				71,300							

令和2年度 事務事業点検シート

整理番号	企1505-007	事務事業名	資産減耗費
------	-----------	-------	-------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			30年度	元年度	2年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
指標で表せない成果							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
事業を行う上で不要となった固定資産を廃棄処分することなどにより固定資産の管理を図るため、現状と同程度を見込んでいる。 平成29年3月に策定した水道事業中期経営計画に基づく設備投資及び除却等を行う。						

令和2年度 事務事業点検シート

事務事業名		その他営業費用	新規/継続	継続事業	整理番号	企1505 - 008										
			分割/統合													
関連 予算 科目	会計	水道事業会計	事業の分割/ 統合の内容													
	款	水道事業費用	事業所管課	水道局経営係												
	項	営業費用	連絡先	(078)918-5064												
	目	その他営業費用	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 31 年度										
	事業		根拠法令 ・要綱等	地方公営企業法施行規則 明石市水道事業会計規程												
施策分野		5 都市基盤整備分野 5-7 安全安心な水の安定供給	実施方法	直営	○	補助・助成	その他									
個別計画		水道事業経営戦略		委託		指定管理										
事業の 目的・ 目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか） 使用不能となった貯蔵品(量水器を除く)を売却したときの原価を計上することにより、売却収益との対応額を明らかにする。															
	成果指標															
	指標名	考え方・定義・式				目標年次	単位	目標値								
事業 内容	活動名	活動内容 (〇〇するために、□□に対し、△△する)				活動実績		活動見込み								
					30年度	元年度	2年度									
	材料売却原価	貯蔵品を売却したときの売却収益との対応額を明らかにするための原価計上				0円	0円	500,000円								
SDGs(17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
					○			○								
事業のコスト (単位：千円)		事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)							
					国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源								
30決算		0	0	0	0	0	0	0								
01当初予算		500	0	500	0	0	500	0	正規	0.00	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00				
01決算		0	0	0	0	0	0	0	再任用	0.00	その他	0.00				
02当初予算		500	0	500	0	0	500	0	任期付	0.00	合計	0.00				
令和 元年度 決算 事業費 明細	区分(節)	内容			金額		令和2 年度 当初 予算 事業費 明細	区分(節)	内容			金額				
	材料売却原価	貯蔵品を売却したときの原価			0			材料売却原価	貯蔵品を売却したときの原価			500				
合計					0		合計					500				

令和2年度 事務事業点検シート

整理番号	企1505-008	事務事業名	その他営業費用
------	-----------	-------	---------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			30年度	元年度	2年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
指標で表せない成果							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
今後も確実な貯蔵品の管理に努める。						

令和2年度 事務事業点検シート

事務事業名 支払利息及び企業債取扱諸費		新規/継続	継続事業	整理番号	企1505 - 009											
		分割/統合														
関連予算科目	会計	水道事業会計		事業の分割/統合の内容												
	款	水道事業費用				事業所管課		水道局経営係								
	項	営業外費用		連絡先				(078)918-5064								
	目	支払利息及び企業債取扱諸費				自治/法定		自治事務	開始年度	昭和 31 年度						
	事業			根拠法令・要綱等				地方公営企業法施行規則 明石市水道事業会計規程								
施策分野		5 都市基盤整備分野				実施方法		直営	○	補助・助成	その他					
個別計画		水道事業経営戦略		委託				指定管理								
事業の目的・目標		目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）														
		建設改良費の財源として借り入れた企業債に対する利息について、後年度負担の必要性などを鑑み、建設改良費を精査することによって借入額を抑制し、支払額の逓減を図る。														
事業内容		成果指標														
		指標名	考え方・定義・式			目標年次	単位	目標値								
		水道料金収入に対する企業債利息の割合	企業債利息÷水道料金収入×100（中期経営計画より）			令和2年度	%	3.8								
事業内容		活動名	活動内容 (〇〇するために、□□に対し、△△する)			活動実績		活動見込み								
						30年度	元年度	2年度								
		企業債利息		前年度以前に借り入れた企業債の利息の支払			191,300,113円	173,303,086円	161,000,000円							
SDGs(17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
					○			○								
事業のコスト (単位：千円)		事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)							
					国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源								
30決算		191,300	0	191,300	0	0	191,300	0								
01当初予算		180,000	0	180,000	0	0	180,000	0	正規	0.00	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00				
01決算		173,303	0	173,303	0	0	173,303	0	再任用	0.00	その他	0.00				
02当初予算		161,000	0	161,000	0	0	161,000	0	任期付	0.00	合計	0.00				
令和元年度決算事業費明細	区分(節)	内容		金額	令和2年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容		金額							
	企業債利息		企業債に対する利息			173,303	企業債利息		企業債に対する利息		161,000					
合計				173,303	合計				161,000							

令和2年度 事務事業点検シート

整理番号	企1505-009	事務事業名	支払利息及び企業債取扱諸費
------	-----------	-------	---------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			30年度	元年度	2年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	水道料金収入に対する 企業債利息の割合	企業債利息÷水道料金収入×100（中期経営計画より）			3.7	3.4	3.2
		令和2年度	%	3.8			
指標で表せない成果							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
支払利息は、企業債の定期償還額が新規借入額を上回るため、減少していく見込である。						

令和2年度 事務事業点検シート

事務事業名		消費税及び地方消費税		新規/継続	継続事業	整理番号	企1505 - 010									
				分割/統合												
関連 予算 科目	会計	水道事業会計		事業の分割/ 統合の内容												
	款	水道事業費用		事業所管課	水道局経営係											
	項	営業外費用		連絡先	(078)918-5064											
	目	消費税及び地方消費税		自治/法定	自治事務	開始年度	平成 元 年度									
	事業			根拠法令 ・要綱等	地方公営企業法、消費税法、消費税法施行令、消費税法施行規則ほか											
施策分野		5 都市基盤整備分野		実施方法	直営	○	補助・助成	その他								
		5-7 安全安心な水の安定供給			委託		指定管理									
個別計画		水道事業経営戦略														
事業 の 目的 ・ 目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）															
	消費税及び地方消費税を適正に納税する。															
	成果指標															
	指標名	考え方・定義・式				目標年次	単位	目標値								
事業 内容	活動名	活動内容 (〇〇するために、□□に対し、△△する)			活動実績		活動見込み									
					30年度	元年度	2年度									
	消費税及び地方消費税	消費税及び地方消費税の納税			88,937,400円	132,020,400円	161,000,000円									
SDGs(17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
					○											
事業のコスト (単位：千円)		事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)							
					国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源								
30決算		88,937	0	88,937	0	0	88,937	0								
01当初予算		140,000	0	140,000	0	0	140,000	0	正規	0.00	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00				
01決算		132,020	0	132,020	0	0	132,020	0	再任用	0.00	その他	0.00				
02当初予算		161,000	0	161,000	0	0	161,000	0	任期付	0.00	合計	0.00				
令和 元 年 度 決 算 事 業 費 明 細	区分(節)	内容		金額	令和 2 年 度 当 初 予 算 事 業 費 明 細	区分(節)	内容		金額							
	消費税及び地方消費税	水道事業に係る消費税及び地方消費税		132,020		消費税及び地方消費税	水道事業に係る消費税及び地方消費税		161,000							
合計				132,020	合計				161,000							

令和2年度 事務事業点検シート

整理番号	企1505-010	事務事業名	消費税及び地方消費税		
------	-----------	-------	------------	--	--

事業 の 成 果	指標名	考え方・定義・式			30年度	元年度	2年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
指標で表せない成果							
適切に消費税及び地方消費税に係る会計処理、納税を実施した。							

事業 の 評 価 ・ 今 後 の 方 向 性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
地方公営企業法・消費税法等に基づく会計処理・納税を適切に行う。						

令和2年度 事務事業点検シート

事務事業名	固定資産売却損	新規/継続	継続事業	整理番号	企1505 - 011			
		分割/統合						
関連予算科目	会計	水道事業会計	事業の分割/統合の内容					
	款	水道事業費用	事業所管課	水道局経営係				
	項	特別損失	連絡先	(078)918-5064				
	目	固定資産売却損	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 31 年度		
	事業		根拠法令・要綱等	地方公営企業法施行規則 明石市水道事業会計規程				
施策分野	5 都市基盤整備分野	実施方法	直営	○	補助・助成	その他		
	5-7 安全安心な水の安定供給		委託		指定管理			
個別計画	水道事業経営戦略							

事業の目的
目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）
 使用不能となった固定資産で売却可能な資産を売却することにより、固定資産の管理の適正化を図る。

成果指標

指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値

事業内容

活動名	活動内容 (〇〇するために、□□に対し、△△する)	活動実績		活動見込み
		30年度	元年度	2年度
固定資産売却損	資産(量水器、車両等)を売却する際に、売却価格が帳簿価額(残存価額)より少ない場合のその差額の費用計上	0円	0円	2,100,000円

SDGs(17の目標)

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
					○											

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
30決算	0	0	0	0	0	0	0	正規	0.00	アルバイト	0.00
01当初予算	2,500	0	2,500	0	0	2,500	0	再任用	0.00	その他	0.00
01決算	0	0	0	0	0	0	0	任期付	0.00	合計	0.00
02当初予算	2,100	0	2,100	0	0	2,100	0				

令和元年度 決算事業費 明細	区分(節)	内容	金額	令和2年度 当初予算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額
		固定資産売却損	量水器売却損ほか		0		固定資産売却損
	合計		0		合計		2,100

令和2年度 事務事業点検シート

整理番号	企1505-011	事務事業名	固定資産売却損
------	-----------	-------	---------

事業の 成果	指標名	考え方・定義・式			30年度	元年度	2年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
指標で表せない成果							
適切に固定資産売却損を計上した。							

事業の 評価・ 今後の 方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
平成29年3月に策定した水道事業中期経営計画に基づく設備投資を行い、その結果、売却可能な固定資産を売却する。						

令和2年度 事務事業点検シート

事務事業名	過年度損益修正損	新規/継続	継続事業	整理番号	企1505 - 012		
		分割/統合					
関連予算科目	会計	水道事業会計	事業の分割/統合の内容				
	款	水道事業費用	事業所管課	水道局業務係			
	項	特別損失	連絡先	(078)918-5084			
	目	過年度損益修正損	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 31 年度	
	事業		根拠法令・要綱等	水道法、水道法施行令、明石市水道条例、明石市水道条例施行規程ほか			
施策分野	5 都市基盤整備分野		実施方法	直営	○	補助・助成	その他
	5-7 安全安心な水の安定供給			委託		指定管理	
個別計画	水道事業経営戦略						

事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）				
	給水区域内の水道使用者から水道料金等の適正な徴収を実施し、健全な事業経営を目指す。				
	成果指標				
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値

事業内容	① 過年度水道料金の減額更正 ② 工事中止による過年度施設分担金等の還付処理				

SDGs(17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
					○											

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
30決算	4,517	0	4,517	0	0	4,517	0	正規	0.00	ほか	0.00
01当初予算	5,300	0	5,300	0	0	5,300	0	再任用	0.00	その他	0.00
01決算	3,202	0	3,202	0	0	3,202	0	任期付	0.00	合計	0.00
02当初予算	5,300	0	5,300	0	0	5,300	0				

令和元年度 決算事業費 明細	区分(節)	内容	金額	令和2年度 当初予算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額
		過年度損益修正損	過年度水道料金の調定減額ほか		3,202		過年度損益修正損
	合計		3,202		合計		5,300

令和2年度 事務事業点検シート

整理番号	企1505-012	事務事業名	過年度損益修正損
------	-----------	-------	----------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			30年度	元年度	2年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
指標で表せない成果							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）				
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性
現状の課題・今後の事業展開方針等					
水道料金等について、過年度の減額更正等を行うことにより、適正な徴収に努める。					

令和2年度 事務事業点検シート

事務事業名		予備費(損益勘定)	新規/継続	継続事業	整理番号	企1505 - 013										
			分割/統合													
関連 予算 科目	会計	水道事業会計	事業の分割/ 統合の内容													
	款	水道事業費用	事業所管課	水道局経営係												
	項	予備費	連絡先	(078)918-5064												
	目	予備費	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 31 年度										
	事業		根拠法令 ・要綱等	地方公営企業法施行令 明石市水道事業会計規程ほか												
施策分野		5 都市基盤整備分野 5-7 安全安心な水の安定供給	実施方法		直営	○	補助・助成	その他								
個別計画					委託		指定管理									
事業の 目的・ 目標	目的(誰を・何を、どういう状態にしたいのか)															
	予定外の収益的支出及び予算を超過した収益的支出に対し、準備しておく。															
	成果指標															
	指標名	考え方・定義・式				目標年次	単位	目標値								
活動名		活動内容 (〇〇するために、□□に対し、△△する)			活動実績		活動見込み									
					30年度	元年度	2年度									
予備費					0円	0円	10,000,000円									
SDGs(17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
					○			○		○						
事業のコスト (単位:千円)		事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)							
					国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源								
30決算		0	0	0	0	0	0	0								
01当初予算		5,000	0	5,000	0	0	5,000	0	正規	0.00	ｱｶ'ｲ	0.00				
01決算		0	0	0	0	0	0	0	再任用	0.00	その他	0.00				
02当初予算		10,000	0	10,000	0	0	10,000	0	任期付	0.00	合計	0.00				
令和元年度 決算事業費 明細	区分(節)	内容		金額	令和2年度 当初予算 事業費 明細	区分(節)	内容		金額							
	予備費	収益的収支予算の予備費		0		予備費	収益的収支予算の予備費		10,000							
合計				0	合計				10,000							

令和2年度 事務事業点検シート

整理番号	企1505-013	事務事業名	予備費(損益勘定)		
------	-----------	-------	-----------	--	--

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			30年度	元年度	2年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
指標で表せない成果							
執行していない。							

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点に「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
引き続き、必要に応じて適正に実施していく。						

令和2年度 事務事業点検シート

事務事業名		第3次整備事業費		新規/継続	継続事業	整理番号	企1505 - 014									
				分割/統合												
関連予算科目	会計	水道事業会計		事業の分割/統合の内容												
	款	資本的支出		事業所管課	水道局施設・管路整備係、管理・水質係											
	項	建設改良費		連絡先	(078)918-5257、(078)918-5068											
	目	第3次整備事業費		自治/法定	自治事務	開始年度	平成 20 年度									
	事業			根拠法令・要綱等	水道法、水道法施行令、明石市水道条例、明石市水道条例施行規程ほか											
施策分野		5 都市基盤整備分野		実施方法	直営	○	補助・助成				その他					
		5-7 安全安心な水の安定供給			委託	○	指定管理									
個別計画		水道事業経営戦略														
事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）															
	水道施設の施設整備及び機能強化を図ることにより、安定した水量を確保し、安全な水を安定して供給する。															
	成果指標															
	指標名		考え方・定義・式				目標年次	単位	目標値							
施設耐震化率(配水池)		耐震水槽容量 ÷ 保有水槽容量 × 100				令和3年度	%	100								
事業内容	① 水道施設(源井、取水場、浄水場、配水場等)の整備工事 安定した水量を確保し、安全な水を安定して供給するための浄水場等の運転操作設備、計装設備、中央監視制御設備の工事 平成30年度実績: 東部配水場非常用自家発電設備電気工事ほか 令和元年度実績: 魚住浄水場第3源井ほか電気工事ほか 令和2年度予定: 明石川取水場受変電設備更新工事ほか															
	② 導水管、送水管、配水管の整備工事 安定した水量を確保し、安全な水を安定して供給するための導水管、送水管、配水管の整備 平成30年度実績: 伊川谷町有瀬緊急時連絡管整備(その2)工事ほか 令和元年度実績: 松江地内配水管布設工事ほか 令和2年度予定: 魚住町金ヶ崎地内配水管布設工事ほか															
SDGs(17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
					○			○		○						
事業のコスト(単位:千円)		事業費	人件費(参考値)	総事業費(参考値)	財源内訳				令和2年度人員配置(人)							
					国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源								
30決算		851,265	0	851,265	0	0	851,265	0								
01当初予算		301,500	0	301,500	0	90,000	211,500	0	正規	0.00	ｱﾙﾊﾞｲﾄ	0.00				
01決算		161,214	0	161,214	0	0	161,214	0	再任用	0.00	その他	0.00				
02当初予算		544,366	0	544,366	0	200,000	344,366	0	任期付	0.00	合計	0.00				
令和元年度決算事業費明細	区分(節)	内容		金額	令和2年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容		金額							
	原浄水施設費	水道施設電気工事ほか		94,649		原浄水施設費	水道施設・設備更新工事ほか		418,000							
	配水施設費	配水管布設工事		29,040		配水施設費	配水管布設工事		110,866							
	委託料	貯水施設水運用計画策定業務委託ほか		37,525		委託料	配水ポンプ設備更新実施設計等業務ほか		15,000							
	事業諸費	工事にかかる諸経費		0		事業諸費	工事にかかる諸経費		500							
	合計					161,214	合計		544,366							

令和2年度 事務事業点検シート

整理番号	企1505-014	事務事業名	第3次整備事業費		
------	-----------	-------	----------	--	--

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			30年度	元年度	2年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	施設耐震化率(配水池)	耐震水槽容量 ÷ 保有水槽容量 × 100			88.5	88.5	88.5
		令和3年度	%	100			
指標で表せない成果							
平成30年度主要工事 東部配水場非常用自家発電設備工事、伊川谷町有瀬緊急時連絡管整備(その2)工事 令和元年度主要工事 魚住浄水場第3源井ほか電気工事							

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
水道事業経営戦略において、今後水需要は減少傾向と見込んでおり、自己水源(地下水・河川水)の潜在能力を考慮しながらも施設の統廃合を含めた規模や更新時期の最適化を図る必要があり、そのために水道事業中期経営計画に基づき、投資・財政計画とのバランスを保ちながら整備を進めていく。						

令和2年度 事務事業点検シート

事務事業名	老朽管整備事業費	新規/継続	継続事業	整理番号	企1505 - 015				
		分割/統合							
		事業の分割/統合の内容							
関連予算科目	会計	水道事業会計	事業所管課	水道局施設・管路整備係					
	款	資本的支出	連絡先	(078)918-5257					
	項	建設改良費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 29 年度			
	目	老朽管整備事業費	根拠法令・要綱等	水道法、水道法施行令、明石市水道条例、明石市水道条例施行規程ほか					
施策分野	5 都市基盤整備分野		実施方法	直営	○	補助・助成		その他	
	5-7 安全安心な水の安定供給			委託	○	指定管理			
個別計画	水道事業経営戦略								

事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）				
	石綿管・ビニル管・普通鉄管など法定耐用年数を経過した配水管を耐震管に更新することにより、漏水事故や濁水の発生を抑制するとともに、耐震性の向上を目的とする。				
	成果指標				
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
	老朽管整備計画達成率	平成28年度に新たな老朽管更新計画を策定し、平成29年度から令和8年度の10年間で、49.65kmの更新を目指す。	令和8年度	%	100

事業内容	<p>平成28年度に作成した老朽管更新計画に基づき、災害時に重要な給水拠点となる避難所、病院等までの重要管路を優先的に更新し、これ以外の老朽管については、古い鉄管及び強度の弱い塩化ビニル管が多く布設されている地区を中心に更新していく。</p> <p>平成30年度更新延長 4.88km 令和元年度更新延長 4.26km 令和2年度更新予定延長 5.35km</p>
-------------	--

SDGs (17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
					○			○		○						

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置 (人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
30決算	667,795	0	667,795	0	0	639,352	28,443	正規	0.00	アルバイト	0.00
01当初予算	792,900	0	792,900	0	380,000	367,900	45,000	再任用	0.00	その他	0.00
01決算	577,437	0	577,437	0	210,000	322,437	45,000	任期付	0.00	合計	0.00
02当初予算	893,500	0	893,500	0	440,000	413,500	40,000				

令和元年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	令和2年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	配水施設費	老朽配水管布設替工事費	576,917		配水施設費	老朽配水管布設替工事費	882,000
	委託料	配水管設計委託費ほか	520		委託料	配水管設計委託費	11,000
	事業諸費		0		事業諸費	工事にかかる諸経費	500
合計			577,437	合計			893,500

令和2年度 事務事業点検シート

整理番号	企1505-015	事務事業名	老朽管整備事業費
------	-----------	-------	----------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			30年度	元年度	2年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	老朽管整備計画達成率	平成28年度に新たな老朽管更新計画を策定し、平成29年度から令和8年度の10年間で、49.65kmの更新を目指す。			20.9	29.4	40.2
		令和8年度	%	100			
指標で表せない成果							
近年発生している本管漏水のほとんどが、この事業における更新対象の管路であることから、この事業を行うことにより、本管漏水発生件数が抑制されているものと考えられる。 また、事業を進めていくことにより本管漏水件数は減少していくことが予想される。							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
新しい老朽管更新計画に基づき、災害時に重要な給水拠点となる避難所・病院等までの重要管路を優先的に更新し、これ以外の老朽管については、古い鑄鉄管及び強度の弱い塩化ビニル管が多く布設されている地区を中心に更新していく。 今後は更新に用いる材料及び施工方法を選定し、更新周期を少しでも伸ばしていく努力が必要である。 また、更新率を上げるよう様々な発注方法等を検討する必要がある。						

令和2年度 事務事業点検シート

事務事業名	建設改良事業費	新規/継続	継続事業	整理番号	企1505 - 016		
		分割/統合					
関連予算科目	会計	水道事業会計	事業の分割/統合の内容				
	款	資本的支出					
	項	建設改良費	事業所管課	水道局施設・管路整備係、管理・水質係			
	目	建設改良事業費	連絡先	(078)918-5257、(078)918-5068			
	事業		自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 5 年度	
施策分野	5 都市基盤整備分野		根拠法令・要綱等	水道法、水道法施行令、明石市水道条例、明石市水道条例施行規程ほか			
	5-7 安全安心な水の安定供給			実施方法	直営	○	補助・助成
個別計画	水道事業経営戦略		委託		○	指定管理	

事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）				
	水道施設を改築更新し、機能維持を図ることにより、安定した水量を確保し、安全な水を安定して供給する。				
	成果指標				
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
経年化設備率	経年化年数を超過している電気・機械設備数 ÷ 電気・機械設備の総数 × 100	令和3年度	%	49.3	

事業内容	① 水道施設（源井、取水場、浄水場、配水場等）の改築更新の実施 安定した水量を確保し、安全な水を安定して供給するための老朽化した施設の改築 平成30年度実績：幣塚橋架替に伴う導水管布設替工事ほか 令和元年度実績：明南町減圧弁室更新工事ほか 令和2年度予定：魚住浄水場配水塔外壁ほか改修工事ほか	
	② 導水管、送水管、配水管の布設替・移設工事 源井からの安定した取水を目的とし、老朽化した導水管や耐震性の低い導水管を更新するほか、他事業の円滑な推進に寄与し、安全な水を安定して供給するための他事業からの依頼による導水管、送水管、配水管の移設 平成30年度実績：山手環状線(西工区)配水管布設替工事ほか 令和元年度実績：魚住町清水地内配水管布設替工事ほか 令和2年度予定：赤根川改修に伴う配水管移設工事ほか	

SDGs(17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
					○			○		○						

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
30決算	197,182	0	197,182	0	0	197,182	0				
01当初予算	235,100	0	235,100	0	0	235,100	0	正規	0.00	ｱｲﾊﾞｲﾄ	0.00
01決算	190,422	0	190,422	0	0	190,422	0	再任用	0.00	その他	0.00
02当初予算	550,500	0	550,500	0	0	550,500	0	任期付	0.00	合計	0.00

令和元年度 決算事業費 明細	区分(節)	内容	金額	令和2年度 当初予算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額
	原浄水施設費	水道施設改良工事	150,493		原浄水施設費	水道施設・設備改良工事	411,000
	配水施設費	配水管布設替工事ほか	25,943		配水施設費	配水管布設替工事ほか	125,500
	委託料	減圧弁室基本・実施設計委託ほか	13,986		委託料	ろ過池施設改修等実施設計業務ほか	14,000
	合計		190,422		合計		550,500

令和2年度 事務事業点検シート

整理番号	企1505-016	事務事業名	建設改良事業費		
------	-----------	-------	---------	--	--

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			30年度	元年度	2年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	経年化設備率	経年化年数を超えている電気・機械設備数÷電気・機械設備の総数×100			47.7	51	56
		令和3年度	%	49.3			
指標で表せない成果							
平成30年度主要工事 幣塚橋架替に伴う導水管布設替工事 令和元年度主要工事 明南町減圧弁室更新工事							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
今後水需要は減少傾向を見込んでおり、自己水源(地下水・河川水)の潜在能力を考慮しながらも、いつでも安定して安全な水道水を供給できるよう、施設の機能、性能を維持する。						

令和2年度 事務事業点検シート

事務事業名		固定資産購入費	新規/継続	継続事業	整理番号	企1505 - 017										
			分割/統合													
関連予算科目	会計	水道事業会計	事業の分割/統合の内容													
	款	資本的支出	事業所管課	水道局経営係、業務係												
	項	建設改良費	連絡先	(078)918-5064、(078)918-5084												
	目	固定資産購入費	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 31 年度										
	事業		根拠法令・要綱等	計量法、明石市水道条例、明石市水道事業会計規程ほか												
施策分野		5 都市基盤整備分野	実施方法	直営	○	補助・助成	その他									
		5-7 安全安心な水の安定供給		委託		指定管理										
個別計画		水道事業経営戦略														
事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）															
	水道事業用に供するメーターなど、工事で取得するものを除く固定資産を購入する。															
	成果指標															
	指標名	考え方・定義・式			目標年次	単位	目標値									
事業内容																
① 水道メーターの検定満期に伴う取替、新規給水申込み等に対応するための水道メーターの購入 平成30年度実績 口径 13mm～100mm(7,854個) 令和元年度実績 口径 13mm～100mm(5,448個) 令和2年度予定 口径 13mm～100mm(4,320個) ② 耐用年数1年以上で取得価額10万円以上の工具器具及び備品の購入 令和元年度実績 水道事業用無線設備の更新、サービスセンターエアコン(会議室)の更新																
SDGs(17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
					○											
事業のコスト(単位:千円)		事業費	人件費(参考値)	総事業費(参考値)	財源内訳				令和2年度人員配置(人)							
					国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源								
30決算		23,185	0	23,185	0	0	23,185	0								
01当初予算		32,800	0	32,800	0	0	32,800	0	正規	0.00	ｱｲﾊﾞｲ	0.00				
01決算		27,702	0	27,702	0	0	27,702	0	再任用	0.00	その他	0.00				
02当初予算		25,100	0	25,100	0	0	25,100	0	任期付	0.00	合計	0.00				
令和元年度決算事業費明細	区分(節)	内容		金額	令和2年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容		金額							
	量水器購入費	水道メーターの購入費(φ13mmほか)		24,320		量水器購入費	水道メーターの購入費(φ13mmほか)		25,100							
	工具器具及び備品購入費	水道事業用無線設備の更新、エアコンの更新ほか		3,382												
合計				27,702	合計				25,100							

令和2年度 事務事業点検シート

整理番号	企1505-017	事務事業名	固定資産購入費
------	-----------	-------	---------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			30年度	元年度	2年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
指標で表せない成果							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>水道メーターについては、計量法により検定証印の付された水道メーター(特定計量器)を利用しなければならない。また、料金算定の基礎となる使用水量を適正に計量することは、使用者の信頼確保のために必要不可欠である。</p> <p>料金算定の基礎となる使用水量を適正に計算できており、有効性も高い。</p>						

令和2年度 事務事業点検シート

事務事業名		事務費	新規/継続	継続事業	整理番号	企1505 - 018										
			分割/統合													
関連予算科目	会計	水道事業会計	事業の分割/統合の内容													
	款	資本的支出	事業所管課	水道局総務・管理係												
	項	建設改良費	連絡先	(078)918-5064												
	目	事務費	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 31 年度										
	事業		根拠法令・要綱等	水道法、水道法施行令、明石市水道条例、明石市水道条例施行規程ほか												
施策分野		5 都市基盤整備分野	実施方法	直営	○	補助・助成	その他									
		5-7 安全安心な水の安定供給		委託		指定管理										
個別計画		水道事業経営戦略														
事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）															
	水道施設の整備、拡充等に従事する職員が建設改良工事について、適正な設計、工事監理等による水道施設の整備更新を図る。															
	成果指標															
	指標名	考え方・定義・式			目標年次	単位	目標値									
活動名		活動内容 (〇〇するために、□□に対し、△△する)		活動実績		活動見込み										
				30年度	元年度	2年度										
人件費	第3次整備事業、老朽管整備事業、建設改良事業にかかる人件費		74,162,004円	61,061,760円	82,133,000円											
SDGs(17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
					○											
事業のコスト (単位：千円)		事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)							
					国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源								
30決算		0	74,162	74,162	0	0	74,162	0	正規	9.00	7714	0.00				
01当初予算		0	83,053	83,053	0	0	83,053	0	再任用	0.00	その他	0.00				
01決算		0	61,062	61,062	0	0	61,062	0	任期付	0.00	合計	9.00				
02当初予算		0	82,133	82,133	0	0	82,133	0								
令和元年度 決算事業費 明細	区分(節)	内容		金額	令和2年度 当初予算 事業費 明細	区分(節)	内容		金額							
		合計		0			合計		0							

令和2年度 事務事業点検シート

整理番号	企1505-018	事務事業名	事務費		
------	-----------	-------	-----	--	--

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			30年度	元年度	2年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	指標で表せない成果						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
特になし。						

令和2年度 事務事業点検シート

事務事業名		企業債償還金		新規/継続	継続事業	整理番号	企1505 - 019									
				分割/統合												
関連 予算 科目	会計	水道事業会計			事業の分割/ 統合の内容											
	款	資本的支出			事業所管課	水道局経営係										
	項	企業債償還金			連絡先	(078)918-5064										
	目	企業債償還金			自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 31 年度								
施策分野	5 都市基盤整備分野			根拠法令 ・要綱等	地方公営企業法、地方公営企業法施行令ほか											
	5-7 安全安心な水の安定供給				実施方法	直営	○	補助・助成		その他						
個別計画	水道事業経営戦略			委託			指定管理									
事業 の 目的 ・ 目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）															
	多額の経費が見込まれる水道施設の更新に備え、企業債を計画的な借り入れ及び償還を行うことで経営の健全性を確保する。															
	成果指標															
		指標名	考え方・定義・式			目標年次	単位	目標値								
	借入金依存度	負債資本合計に対する借入金（企業債残高）の割合。 借入金/負債資本合計で算出される。			令和2年度	%	19.7									
事業 内容	活動名	活動内容 (〇〇するために、□□に対し、△△する)			活動実績		活動見込み									
					30年度	元年度	2年度									
	企業債償還額	水道施設の整備、拡充等のために借り入れた企業債の元金償還			691,450,309円	678,883,572円	697,000,000円									
	企業債借入額	水道施設の整備、拡充のための新規借入			0円	210,000,000円	640,000,000円									
	未償還残高	企業債の残高			8,071,256,370円	7,602,372,798円	7,545,372,798円									
SDGs(17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
					○			○								
事業のコスト (単位：千円)		事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)							
					国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源								
30決算		691,450	0	691,450	0	0	691,450	0								
01当初予算		679,000	0	679,000	0	0	679,000	0					正規	0.00	ｱﾙｶﾞ ｲﾝ	0.00
01決算		678,884	0	678,884	0	0	678,884	0					再任用	0.00	その他	0.00
02当初予算		697,000	0	697,000	0	0	697,000	0	任期付	0.00	合計	0.00				
令和 元 年 度 決 算 事 業 費 明 細	区分(節)	内容		金額	令和2 年 度 当 初 予 算 事 業 費 明 細	区分(節)	内容		金額							
	企業債償還金	企業債の元金償還		678,884		企業債償還金	企業債の元金償還		697,000							
	合計		678,884			合計		697,000								

令和2年度 事務事業点検シート

整理番号	企1505-019	事務事業名	企業債償還金
------	-----------	-------	--------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			30年度	元年度	2年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	借入金依存度	負債資本合計に対する借入金(企業債残高)の割合。 借入金/負債資本合計で算出される。			22.2	19.4	19.7
		令和2年度	%	19.7			
指標で表せない成果							

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点に「×」)					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
多額の経費が見込まれる水道施設の更新に備え、企業債を計画的な借り入れ及び償還を行うことで経営の健全性を確保する。						

令和2年度 事務事業点検シート

事務事業名		予備費(資本勘定)	新規/継続	継続事業	整理番号	企1505 - 020										
			分割/統合													
関連 予算 科目	会計	水道事業会計	事業の分割/ 統合の内容													
	款	資本的支出	事業所管課	水道局経営係												
	項	予備費	連絡先	(078)918-5064												
	目	予備費	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 31 年度										
	事業		根拠法令 ・要綱等	地方公営企業法施行令、明石市水道事業会計 規程ほか												
施策分野		5 都市基盤整備分野 5-7 安全安心な水の安定供給	実施方法		直営	○	補助・助成	その他								
個別計画					委託		指定管理									
事業の 目的・ 目標	目的(誰を・何を、どういう状態にしたいのか) 予定外の資本的支出及び予算を超過した資本的支出に対し、準備しておく。															
	成果指標															
	指標名	考え方・定義・式				目標年次	単位	目標値								
事業 内容	活動名	活動内容 (〇〇するために、□□に対し、△△する)			活動実績		活動見込み									
					30年度	元年度	2年度									
	予備費				0円	0円	5,000,000円									
SDGs(17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
					○			○		○						
事業のコスト (単位:千円)		事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)							
					国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源								
30決算		0	0	0	0	0	0	0								
01当初予算		5,000	0	5,000	0	0	5,000	0	正規	0.00	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00				
01決算		0	0	0	0	0	0	0	再任用	0.00	その他	0.00				
02当初予算		5,000	0	5,000	0	0	5,000	0	任期付	0.00	合計	0.00				
令和元年度 決算事業費 明細	区分(節)	内容		金額	令和2年度 当初予算 事業費 明細	区分(節)	内容		金額							
	予備費	資本的収支予算の予備費		0		予備費	資本的収支予算の予備費		5,000							
合計				0	合計				5,000							

令和2年度 事務事業点検シート

整理番号	企1505-020	事務事業名	予備費(資本勘定)		
------	-----------	-------	-----------	--	--

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			30年度	元年度	2年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
指標で表せない成果							

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点に「×」)					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
引き続き、必要に応じて適正に実施していく。						